

コロナ禍のなか2年ぶりの開催

令和3年度総会に100人集う

秋田高校同窓会の令和3年度通常総会は6月27日、秋田市
の秋田ホテルに約100人が出席して開かれた。昨年はコロ
ナ禍のなか中止となっており、2年ぶりの開催。令和2年度
の会務・事業報告、会計決算報告、役員選任案（追認案件）
をそれぞれ承認。令和3年度の事業計画と1722万円に上
る一般会計予算が原案通り承認された。

総会の冒頭、欠席の銭谷眞美会長に代わり三浦廣巳副会長

が挨拶に立ち「コロナ禍
のなか、こうしてライブ
で同窓会総会が開催でき
たことに、事務局はじめ
関係者の皆さまに感謝し
たい。こういう時代だか
らこそ、秋田高校同窓生
の果たす役割はますます
大きくなるだろうし、こ
れから社会に巣立つ在校
生の皆さんへの期待も大
きい。我々の母校・秋田
高校を中心とした社会的
責任は大きいと認識して
いる」と母校ならびに同
窓生にエールを送った。

続いて、渡部克宏校長
が挨拶に立ち「エアコン
の設置や学食の復活・充

実、さらに各種教育プログラムへの支援と物心両面にわたる
ご支援に大変感謝している」と語り、「コロナ禍のなか、リ
スクを考えると消極的にならざるを得ない面もあるが、本
校では可能性を最後まで追求していきたいと考えている。こ
れからの社会を担っていく若い世代を育てていくという本校の
使命を考えるとそういう姿勢を貫きたい。変わらぬご支援を
お願いしたい」と述べた。

総会に続き、東洋経済新報社代表取締役社長の駒橋憲一氏
（昭和50卒）が「秋田に育まれた我が東洋経済新報社」と題
して記念講演しお開きとなった。

講演要旨4・5面に

令和2年度～令和4年度 秋田県立秋田高等学校同窓会役員

役名	卒業年次等	氏名	備考
会長	昭43	銭谷 眞美	
副会長	昭44	三浦 廣巳	
〃	昭49	佐野 元彦	
〃	昭50	辻 良之	
〃	昭50	中村 順子	
〃	昭55	渡部 克宏	校長
監事	昭49	櫻田 裕之	
〃	昭55	佐藤 雅彦	令和2年11月就任
〃	昭59	田村 泰教	
顧問	昭33	高島 清子	
〃	昭34	豊口 祐一	
〃	元校長	高橋 幸臣	
参与	昭40	菅原 洋弘	
〃	昭41	柴田 義節	
〃	昭43	藤盛 谷一	
〃	昭44	菊谷 貢年	
〃	昭47	高橋 成	
〃	昭49	伊藤 成	

天上天下 TENJO TENGE

本年度通常総会の記念
講演は、東洋経済新報社
代表取締役社長の駒橋憲
一氏（昭和50卒）が「秋田に
育まれた我が東洋経済新
報社」と題して行った。

同社が戦前から社説等で
論陣を張った、日本の満
州国経営を含む海外膨張
主義（覇権主義）への批判は、
当然だが同社の主幹を務め、そ
の後政界に移り、昭和31年に総
理大臣に就任した石橋湛山の政
治姿勢である▼病に倒れ、在任
期間わずか65日で辞任。その後
任は経済官僚出身で、満州国経
営の中心人物であった岸信介が
継いだ。そして岸は日米安保条
約の改定に走り、60年安保事件
が起こる。政治姿勢が正反対の
二人が一緒に自由民主党を作っ
た背景には互いに政敵だった吉
田茂がいた▼ジャーナリスト、
エコノミスト出身で自由主義者
だった石橋は市場メカニズムを
信頼し、経済の統制に懐疑を表
した。一方で統制経済を核とし
た国家経営を至上命題とした岸
▼駒橋氏は講演で「石橋政権が
2〜3年続いていたら、60年安
保はありませんでした。歴史に
イフは許されないとしても戦後
の歴史は違ったものになり、今
の日本もまた別の姿になってい
たかもしれない」と語った。